

平成23年度東北地区大学図書館協議会合同研修会
グループ別情報交換会の概要について

1. 日 時：平成23年7月29日（金）
2. 会 場：秋田大学附属図書館

テーマ「安全な図書館の作り方」

第2グループB： 岩手大学、福島大学、秋田大学医学部分館、岩手県立大学、
八戸工業大学、石巻専修大学、秋田県立大学（ファシリテーター）

【防災対策について】

- ・防災マニュアル — 大学が作成したものはあるが、図書館独自のマニュアルを作成している館はなかった。うち1大学は3.11震災後にマニュアルを作成し学生に配布した。
- ・書架 — 地震対策として、書架同士の上部を連結させる、書架の上段に落下防止の安全バーを取り付ける等の対策はほとんどの館で実施していたが、3.11震災ではそれでも多くの資料が落下した、あるいは安全バーが正しく作動しなかった等の事例があった。3.11後の対策として、最上段には図書を置かない、安全バー増設、安全バーをわざと上げっぱなしにしておく、一部の書架は立ち入り禁止、職員同伴のみ入室可など、各館で対応をとっていた。今後の対策として、図書落下防止用テープ・シートの購入を検討している館もあった。
- ・避難訓練、避難路 — ほとんどの館で年1回の大学主催避難訓練を実施していたが、3.11震災後はマニュアルや避難経路、書架の位置などの見直しを検討している館が多かった。避難経路のポスターを掲示した館もあった。日頃から職員同士で確認しあう、学生への周知が重要、との意見もあった。今後の課題としては、入館者が多い時の対応について、あるいは夜間等職員が手薄になる時間帯の対応について検討が必要であると感じている館もあった。数年前から大学で非常食を常備しており、今回の震災に役立った館もあった。

【不審者対策について】

- ・防犯カメラ — 7館中5館で設置済み。うち、1館はダミーのカメラであり、1館は以前ダミーであったが女子トイレ覗き犯が出没してからは本物のカメラを設置し、他にポスターで注意喚起をした。
- ・盗難 — 盗難被害に関しては、見回りを強化する、あるいは注意喚起の掲示をするなどの対策をしている館があった。
- ・入館ゲート — 7館中3館で設置しており、利用者カードを持っていない学外者は入

館出来ないことになっている。利用者カードをかざしてゲートが開くだけでなく、入退館記録をとれるようにすれば良いのではないかとの意見もあった。ゲートがない館では、不審な行動をとる人がいた場合には職員が声をかけるなどの対応をしている例もあった。

- ・マニュアル — 迷惑利用者が複数回来館したのを機に対応マニュアルを図書館で作成した館があった。内容は次のとおり。
 - ・複数の職員で対応し、迷惑行為をやめるよう注意する。
 - ・注意してもやめない場合は、巡回員の派遣を依頼する。
 - ・暴力行為に及ぶ場合は、警察を呼ぶと警告の上、交番に連絡する。
 - ・クレーム Q&A
- ・防犯グッズ — さすまたと催涙スプレーを常備しているのは1館、大学が支給したさすまたとネットランチャーを常備しているのは1館、他に、押すと警備に繋がる防犯ブザーを購入検討している館が1館であった。

【報告：石黒（秋田県立大）】